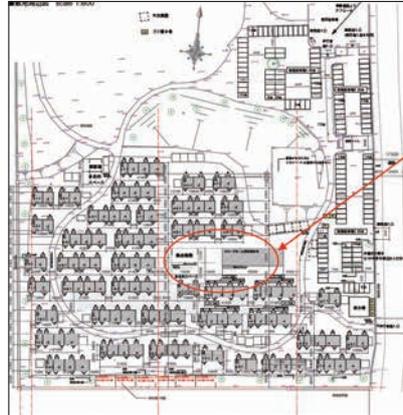


【住 宅 部 門】

事業名 福島県応急仮設住宅建設事業（地元公募型）  
授賞機関 福島県土木部建築住宅課  
実施期間 平成23年4月～平成25年2月



玄関の対面配置（メーターモジュール採用）



応急仮設住宅配置図（例）

※応急仮設住宅中央に集会場、グループホーム型仮設住宅を配置し、団地内のコミュニティーの形成に配慮した。

集会場・  
グループホーム型仮設住宅



団地全景

〔事業概要と評価〕

応急仮設住宅の建設時に、地域の事業者や地域材を大規模に活用する取り組みは東日本大震災の被災地で進められた新たな取り組みの一つである。約6,800戸の応急仮設住宅（県内の仮設住宅建設全体の約40%）を地域の事業者の活用により確保した。緊急時の住宅供給の進め方について新たな知見をもたらしたのものとして高く評価ができる。

事業名 相馬市馬場野地区災害公営住宅建設工事  
授賞機関 相馬市  
実施期間 平成23年11月4日～平成24年7月31日



西側より建物外観



畳スペースで井戸端会議

〔事業概要と評価〕

東日本大震災に係わる災害公営住宅整備事業として全国で最初に完了したものである。ボランティア・ヘルパーの待機スペースや共用の食堂・ランドリースペースを住棟内に設けるなど、高齢者共助型の住宅として優れた設計がなされている。今後、被災地で高齢者の公営住宅への入居需要の増大が見込まれる中モデル的な事業として先進性を評価できる。